事　　項	水稲直播栽培のは種後落水管理条件下でのノビエ及びイネの葉齢推移と除草体系
ねらい	乾田直播及び湛水直播において日平均気温の積算により、除草剤散布の目安となるノビエ及びイネの葉齢を推定することができ、これをもとに効率的な除草体系を組み立てることができるので参考に供する。

指導参考内容

1　乾田直播(は種直後入水、その後落水管理)ではは種後の、湛水直播(は種直後落水管理)では代かき・は種後の日平均気温の積算値から、除草剤散布の目安となるノビエ及びイネの葉齢が推定できる。

表　除草剤散布の目安となるノビエ及びイネの葉齢到達に要する積算気温

区　分	ノビエ			イネ	
	1.5葉期	2.5葉期	3葉期	1葉期	1.5葉期
乾田直播	161℃	247℃	290℃	222℃	282℃
湛水直播	172℃	248℃	286℃	212℃	259℃

(注)　積算気温は、乾田直播ではノビエ・イネともは種翌日から、湛水直播ではノビエは代かき翌日からイネはは種翌日からそれぞれ起算する。

2　積算気温に対応した除草体系

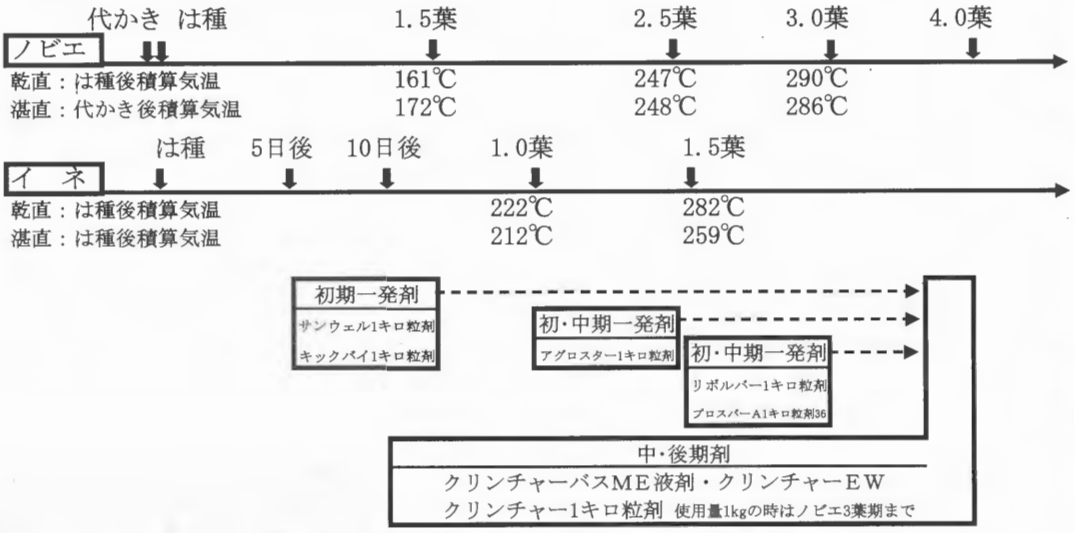

図　代かき･は種後積算気温に対応した除草体系

期待される効果	代かき又は、は種後の日平均気温を積算することで除草剤散布時期の目安が得られ、効率的な雑草防除が可能となる。
利用上の注意事項	1　除草剤の使用上の注意事項を厳守する。 2　日平均気温の積算とノビエ及びイネの葉齢は、気象条件やほ場、種子の条件、イネの品種等によって変動するので、ほ場での観察状況も考慮して除草剤散布日を決定する。
担　　当	青森県農業試験場　栽培部　　対象地域　直播栽培対象地域
発表文献等	平成10～14年度　青森県農業試験場試験成績概要集

【根拠となった主要な試験結果】

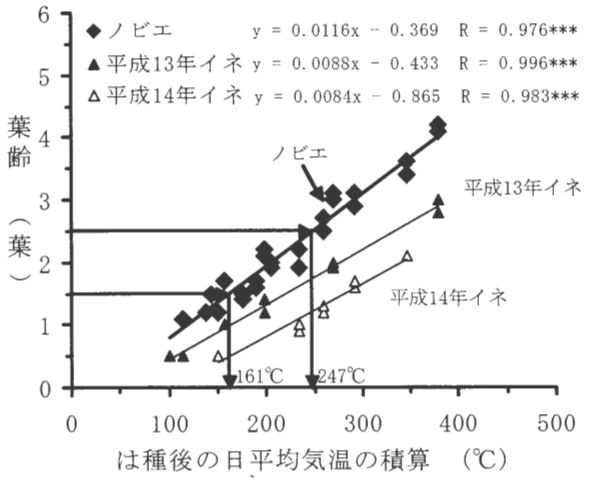

図１　乾田直播の無除草区におけるノビエ・イネの葉齢の推移　（平成13～14年　青森農試）

（注）　作溝乾田表面条播直後湛水法で６～15日間落水管理

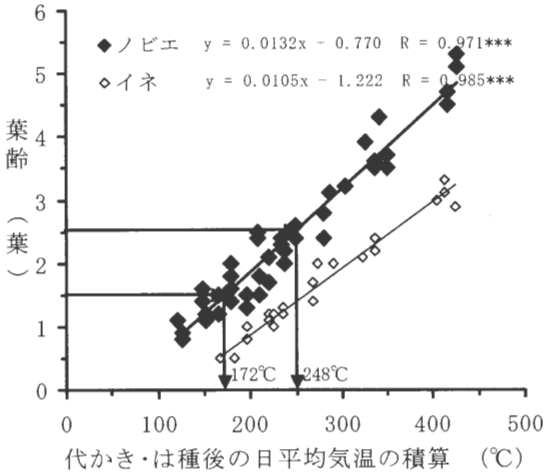

図２　湛水直播の無除草区におけるノビエ・イネの葉齢の推移　（平成12～14年　青森農試）

（注）　代かき同時土中点播で、は種後７～14日間落水管理

表1　供試薬剤の除草効果　（平成13～14年　青森農試）

は種方法	年次	初期水管理	供試薬剤	処理時の葉齢 ノビエ	処理時の葉齢 イネ	除草効果 ノビエ	除草効果 タマガヤツリ	除草効果 一年生広葉	除草効果 ホタルイ	除草効果 アゼナ類	除草効果 ミゾハコベ	薬害 程度	薬害 症状
乾田直播	平成14年	は種後8日間落水	無除草	－	－	64.4	0.31	2.86	1.23	4.37	3.08	－	
			比)アグロスター1キロ粒剤	2.5	1.2	◎	◎	◎	○	□	○	微	生育抑制
			比)リボルバー1キロ粒剤	2.5	1.2	◎	◎	◎	○	□	△	微	生育抑制
			プロスパーA1キロ粒剤36	2.5	1.2	◎	◎	△	○	○	△	無	
		は種後15日間落水	無除草	－	－	76.0	0.54	1.26	0.84	2.67	1.51	－	
			比)アグロスター1キロ粒剤	2.7	1.3	◎	◎	◎	◎	○	□	微	白化、生育抑制
			比)リボルバー1キロ粒剤	2.7	1.3	◎	◎	◎	◎	○	×	微	生育抑制
			プロスパーA1キロ粒剤36	2.7	1.3	◎	◎	◎	◎	◎	×	無	
	平成13年	は種後9日間落水	無除草	－	－	137	1.00	2.40	1.92	3.96	3.48	－	
			比)アグロスター1キロ粒剤	2.6	1.5	◎	◎	◎	◎	◎	○	無	
			アグロスター1キロ粒剤	3.1	1.8	◎	◎	◎	◎	◎	□	無	
			リボルバー1キロ粒剤	2.6	1.5	◎	◎	◎	◎	◎	△	無	
			リボルバー1キロ粒剤	3.1	1.8	◎	◎	◎	◎	◎	□	無	
			プロスパーA1キロ粒剤	2.6	1.5	◎	◎	△	◎	◎	△	無	
			プロスパーA1キロ粒剤	3.1	1.8	◎	◎	◎	◎	◎	×	無	
湛水直播	平成14年	は種後7日間落水	無除草	－	－	273	12.4	6.04	18.9	29.7	41.2	－	
			比)アグロスター1キロ粒剤	2.6	1.3	◎	◎	◎	◎	○	□	無	
			比)リボルバー1キロ粒剤	2.6	1.3	◎	◎	◎	◎	□	○	無	
			プロスパーA1キロ粒剤36	2.6	1.3	◎	◎	◎	◎	○	□	極微	白化、奇形
		は種後14日間落水	無除草	－	－	263	2.10	4.52	9.26	26.4	22.0	－	
			比)アグロスター1キロ粒剤	2.4	1.2	◎	◎	◎	◎	△	□	無	
			比)リボルバー1キロ粒剤	2.4	1.2	◎	◎	◎	◎	□	○	極微	奇形
			プロスパーA1キロ粒剤36	2.4	1.2	◎	◎	◎	◎	△	□	無	
	平成13年	は種後14日間落水	無除草	－	－	103	0.64	0.48	1.30	21.5	5.38	－	
			比)アグロスター1キロ粒剤	2.4	1.4	□	◎	◎	◎	□	○	無	
			アグロスター1キロ粒剤	2.9	1.8	○	◎	◎	◎	□	×	無	
			リボルバー1キロ粒剤	2.4	1.4	◎	◎	◎	△	□	×	無	
			リボルバー1キロ粒剤	2.9	1.8	◎	◎	◎	◎	□	×	無	
			プロスパーA1キロ粒剤	2.4	1.4	◎	◎	◎	◎	×	□	無	
			プロスパーA1キロ粒剤	2.9	1.8	◎	◎	◎	◎	□	□	無	

（注）1　除草効果の欄は無除草区のみ風乾重（g/㎡）、他は風乾重の無除草区対比　◎:0～10%　○:11～20%　□:21～40%　△:41～60%　×:61%以上
　　2　アゼナ類、ミゾハコベにはＳＵ抵抗性が含まれると考えられる